

榎野川河口干潟における竹を用いた二枚貝育成イベントの実施について

山口県環境保健センター ○恵本 佑・川上千尋

山口県自然保護課
山口市環境政策課

山本倫也・藤本裕子
山村秀明・福谷拓則

榎野川河口域・干潟自然再生協議会

自然再生推進法の枠組みを活用して、産・学・民・公の様々な主体の参画により組織された。平成16年から、アサリ漁場の再生やアマモ場の創出に向けた様々な活動等を実施。

二大目標 ①豊かな漁場の復活 ②環境体験の場としての活用



協議会
Facebook



のべ **3,195** 名が
自然再生活動に参加！

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
春	170	200	120	130	114	183	216	228	242	252	230	270	430
秋	60	100	80	80	-	-	-	-	-	90	-	-	-

アサリを
自然再生の指標
として活動

「あさり姫」とは？

あさり姫は竹の中でアサリを1年程度飼育する学習プログラムで、かぐや姫との類似から名付けられた。自らアサリを管理し育てて人と海との関わりを学習する効果等が期待できる。徳島県の「沖洲海浜楽しむ会」が考案。



イベント概要

第1回 あさり姫プロジェクト@榎野川河口干潟

～自然の大きさを学び、あさり姫を育てて、榎野川河口干潟の“あさり再生活動”を応援しよう！～
 日 時：平成29年7月22日（土）10:00～14:30
 場 所：きらら浜自然観察公園、山口湾（南潟）
 主 催：榎野川河口域・干潟自然再生協議会（環境学習WG）
 協 力：竹林ボランティア山口、株式会社伊藤園 山口支店
 参加者：50名(スタッフ含む)



- プログラム**
- ①事前説明
 - ②「あさり姫の館」の工作！
 - ③「あさり姫の館」を干潟に設置！
 - ④干潟の生物とふれあおう！

カトガニも
多数確認されました！

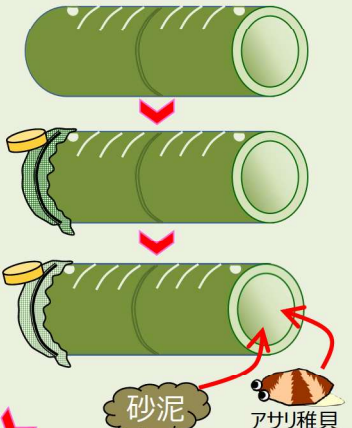
事前調査の結果

- ①竹ポット（あさり姫の館）がアサリを食害等から守る！
 - ②アサリを入れずに設置しても、幼生が加入し、成長する！
 - ③ゴカイなど、アサリ以外の生物も加入する！
- 森の竹を活用し、海のアサリを守り・育てることが可能
 →体験型の環境学習として適している



竹ポットの構造

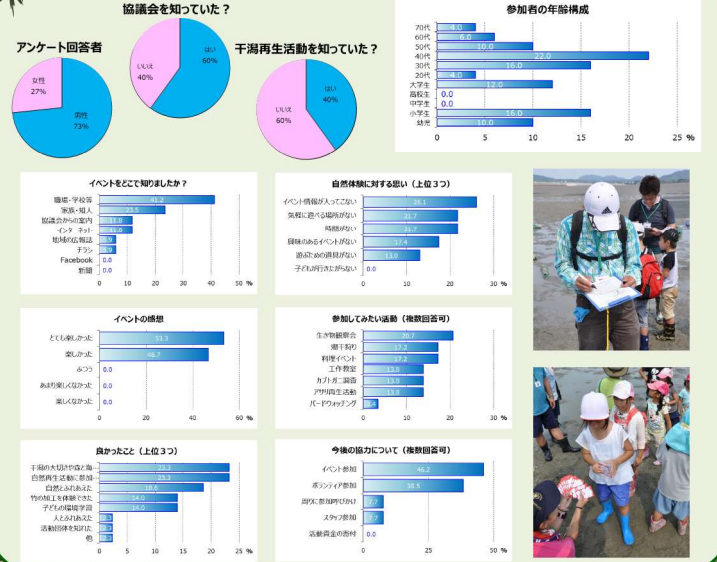
- 孟宗竹（2節分）の節を抜き、筒状にする。
- 杭固定用の穴2か所通水用のスリットを空ける。
- 片側にメッシュとタグをつけて結束バンドで固定。
- 干潟の砂泥とアサリ稚貝を投入して、メッシュ取付。
- 鉄筋杭で干潟に固定する。



来年の春に内部を確認！



アンケート結果



まとめ

- 森の竹を用い、海のアサリを育成する市民向けの体験型環境学習を実施したところ、好評であった。
- 多くが30代～40代の参加者で、小学生以下の子供と一緒に参加していた。
- 子育て世代への情報発信は、職場や学校への広報が有効。
- イベントについて、良かったという感想がほとんどだが、何を良いと思ったかは参加者によって異なっていた。
- 再生活動の資金獲得は寄付を募るよりも、イベント参加費等によって獲得する方が現実的。

「あさり姫プロジェクト@榎野川河口干潟」の実施にあたり、榎野川河口域・干潟自然再生協議会（環境学習WG）のメンバーのほかに、いくつかの団体等の協力を得ました。

- 以下に記して、謝意を表します。
- 沖洲海浜楽しむ会
あさり姫プロジェクトに関する情報提供
 - 竹林ボランティア山口、NPOやまぐち里山ネットワーク
孟宗竹の提供、児童への竹加工指導
 - 株式会社 伊藤園 山口支店
飲料の提供
 - 環境省
森里川海プロジェクトの活動助成
(地域循環共生圏構築検討業務)

